

地域文化財総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	国見町	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	国見町文化遺産総合活用推進事業計画	【計画の改善時期】 平成 年度	
4 実施計画期間	平成 27 年度 ～ 平成 33 年度		
5 実施計画の概要			
<p>歴史を活かしたまちづくりを推進するため、地域の文化遺産・歴史的風致を次世代へ伝え、かつ情報発信を行い意識の醸成向上を図り、保存・活用を積極的に推進する。町内各団体と連携を進めながら取り組みを実施する。</p>			
6 実施体制			
<p>国見町が、実施計画に係る全体の企画・調整や、各補助事業に関する指導等を行う。 主な担当課は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり交流課：各補助事業における企画・調整、文化財の取扱い等に関する指導及び公民館事業との連携、観光やイベントの連携事業に関すること ・企画情報課：地方創生、まちづくりに関する連携 ・建設課：景観・都市計画・まちづくり整備に関する連携等 <p>補助事業は次の団体が実施する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国見町歴史まちづくりフォーラム（会長：中村洋平） ・構成団体 国見町郷土史研究会、内谷春日神社太々神楽保存会、国見伝統文化保存会、歴史的建造物所有者、大木戸歴史むらづくりの会、国見中尊寺蓮育成会、並柳町内会(王壇古墳管理主体) 			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成30年度交付決定額： 18,380 千円	平成31年度申請額： 131 千円
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>町民が国見町固有の文化遺産や祭礼、伝統芸能を深く理解することにより、その価値を再認識し、「町のたから」として保護・継承しようとする意識が高まる。加えて多くの町民がここに住むことへの「誇り」を共有することにより地域の活性化と震災からの復興が期待できる。</p>			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：	<p>歴史まちづくりシンポジウム事業 町内文化財に関する調査結果や文化遺産を活用したまちづくり、観光づくり等に関するシンポジウムを開催し、普及啓発、地域住民との連携・協働を図る。</p>		
事業概要：	<p>歴史まちづくりイベント事業 国登録有形文化財である「旧小坂村産業組合石蔵」や「奥山家住宅」、その他文化財・史跡等を活かしたイベントの実施や、地域住民との協働によるイベントの企画、開催を行い、歴史まちづくりの意識向上につなげるとともに、地域に活性化を図る。</p>		
11 「文化財保存活用地域計画」の作成・認定や「文化財保存活用大綱」の策定、「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
<ul style="list-style-type: none"> ・国見町歴史的風致維持向上計画（平成27年2月23日認定） ・平成27年度から文化遺産の総合的な把握の取り組みとして悉皆調査を行っており、平成31年度の歴史文化基本構想の策定を目指す。 			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	国見町まちづくり交流課歴史まちづくり推進室		

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 1 :	地域の文化遺産への来場者数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 1 :	文化財ボランティアを利用し、地域文化財等に 来場し見学した人数	関連事業:		①、②、③、④、⑤、⑥、 ⑦		
目標値 1 :	【現状値】 平成 28 年度 1,000 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 1,600 人					
設定根拠 1 :	平成27年度の観光入込客数の伸び率を1.1倍として毎年伸び率1.1倍と設定					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
2,902 人	2,439 人	人	人	人	人	
317%	240%					
目標区分 2 :	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化					
評価指標区分 2 :	地域の文化遺産を活用した取組数 (本事業の取組を除く) (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 2 :	地域文化遺産等を利用した取組数 (自主事業 等)	関連事業:		③、④、⑤、⑥、⑦、⑧、 ⑨		
目標値 2 :	【現状値】 平成 28 年度 3 件 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 8 件					
設定根拠 2 :	平成28年度までの毎年度平均伸び率0.3%に対し、2倍の0.6%を設定					
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
6 件	7 件	件	件	件	件	
60%	80%					

事業①:	国見町歴史文化遺産解説板設置事業					実施団体:	国見町歴史まちづくりフォーラム				
事業区分:	情報発信					事業期間:	平成 30 年度 ~ 平成 30 年度				
事業概要:	町内に存在する文化遺産について、その歴史的背景や価値について十分に案内がしきれずに、訪れた方にその魅力を伝えられていない箇所が多々ある。これらについて解説を行う案内板を設置し、文化遺産の普及・理解促進を図る。										
評価指標区分:	・その他					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標:	町内の歴史めぐり事業参加者数										
目標値:	【現状値】 平成 28 年度 500 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 3,200 人										
進捗状況:	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
1,700 人	2,180 人	人	人	人	人						
44%	62%										
事業②:	国見町歴史文化読本制作事業					実施団体:	国見町歴史まちづくりフォーラム				
事業区分:	情報発信					事業期間:	平成 29 年度 ~ 平成 30 年度				
事業概要:	国見町の歴史、文化財を網羅した読本を制作し、町の歴史や史跡、建造物などの文化財や人々の活動を多くの方に知ってもらい、来町者や地域の大人、小中学生も分かりやすい入門的な内容で、まちあるき、歴史めぐりができるものとする。										
評価指標区分:	・その他					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標:	町内の歴史めぐり事業参加者数										
目標値:	【現状値】 平成 28 年度 500 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 3,200 人										
進捗状況:	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
1,700 人	2,180 人	人	人	人	人						
44%	62%										

事業③：	文化財活用デーイベント開催事業	実施団体：	国見町歴史まちづくりフォーラム			
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成 30 年度 ～ 平成 33 年度			
事業概要：	<p>町内団体等が行う文化遺産に関する調査活動結果について、広く普及啓発を図るため、平成29年1月にオープンした国見町文化センター「あつかし歴史館」において発表・展示するイベントを開催する。</p> <p>また、町内に残る宿場町や農村集落のまちなみを歩き、その歴史やかつての営みを学び町のたからものを発見する研修会を開催するとともに、その成果を広く普及するための散策ガイドを作成する。</p> <p>更には、町の代表的な文化遺産である阿津賀志山防塁や奥州合戦の歴史について、当該史跡等と関わりの深い「国見町中尊寺蓮」の開花時期に合わせ、平成29年5月にオープンした「道の駅国見あつかしの郷」と連携し、来町者に普及啓発を図り魅力を伝えるイベントを開催する。</p>					
評価指標区分：	・その他			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	国見町文化財案内ボランティアの登録者数					
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 20 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 30 人					
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
20 人	21 人	人	人	人	人	
0%	10%					
事業④：	内谷春日神社太々神楽面整備事業	実施団体：	国見町歴史まちづくりフォーラム			
事業区分：	用具等整備	事業期間：	平成 30 年度 ～ 平成 30 年度			
事業概要：	<p>明治時代から伝わる内谷春日神社太々神楽の面については、現在も伝承当時のもの（12種類）を使用しているが、そのうち3枚について傷みが大きく、今後使用の継続により更なる損傷が懸念されることから、補修を行うもの。</p>					
評価指標区分：	・その他			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	「子ども太々神楽教室」参加児童・生徒数					
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 15 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 23 人					
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
15 人	15 人	人	人	人	人	
0%	0%					
事業⑤：	国登録有形文化財「旧小坂村産業組合石蔵」内部紹介コンテンツ開発事業	実施団体：	国見町歴史まちづくりフォーラム			
事業区分：	情報発信	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 29 年度			
事業概要：	<p>国登録有形文化財「旧小坂村産業組合石蔵」は、JAふくしま未来が所有し、通常は一般公開等を行っていない。よって内部の公開・ガイド機能を持ったデジタルコンテンツを開発することにより、文化財として常時情報を発信し、建造物の魅力の向上を図る。</p>					
評価指標区分：	・コンテンツダウンロード数（掲載HPや動画共有サイトでの再生回数等）			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	旧小坂村産業組合石蔵デジタルコンテンツアクセス数					
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 0 件 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 3,000 件					
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
50 件	500 件	件	件	件	件	
2%	17%					

事業⑥：	案内ボランティアガイド育成事業	実施団体：	国見町歴史まちづくりフォーラム			
事業区分：	人材育成	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度			
事業概要：	町内の歴史、文化財について総合的な観光案内が可能なガイドの育成を図るため、観光ガイドの候補者及び現在活動中の文化財ボランティアを対象に、ガイドとしての心得、技術などを学ぶ講座を開催する。					
評価指標区分：	・ボランティアガイド育成講座修了者の後年度活動者数			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	育成講座修了者の後年度活動者数					
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 0 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 50 人					
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
103 人	58 人	人	人	人	人	
206%	116%					
事業⑦：	文化財公開の日イベント事業	実施団体：	国見町歴史まちづくりフォーラム			
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度			
事業概要：	町内の歴史的建造物の多くは個人、法人の所有であることから、平時は、外観からしか見ることは出来ない。文化財所有者の協力を得ながら、内部を一般公開し文化財の魅力を活用したイベントを開催する。					
評価指標区分：	・その他			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	補助外での所有者協力による一般公開日数（自主事業）					
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 0 日 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 20 日					
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
8 日	8 日	日	日	日	日	
40%	40%					
事業⑧：	内谷春日神社太々神楽演目復活プロジェクト	実施団体：	国見町歴史まちづくりフォーラム			
事業区分：	調査研究	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 29 年度			
事業概要：	明治15年に三春地方より伝承された内谷地区春日神社の太々神楽は、伝承当時26座が演じられていたが、戦後の奉納中断などにより、現在18座のみ演じられている。演じることがなくなった演目について、復活調査・記録保存などを行い後世に継承するもの。					
評価指標区分：	(リストから選択してください。)			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：						
目標値：	【現状値】 平成 年度 (単位) ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 (単位)					
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	

事業⑨：	国見石の石蔵に関する調査事業				実施団体：	国見町歴史まちづくりフォーラム	
事業区分：	調査研究			事業期間：	平成 29 年度 ~ 平成 33 年度		
事業概要：	国見町固有の町並みを形成している、石蔵や石造建造物は「国見石」と呼ばれる地元で採石される資源を利用していることが多い。それらの石の特製や石造建造物の分布や年代、建築方法の特徴を調査する。						
評価指標区分：	(リストから選択してください。)				(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：							
目標値：	【現状値】 平成 年度		(単位)	⇒	【目標値】 平成 33 年度		(単位)
進捗状況：	各年度, 状況値, 目標に対する達成率						
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度		
(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	